



# 大学と社会

## 特別講義・講演シリーズ

第1回

12月9日(火)

16:00~17:30

参加申し込み  
〆切12月2日

### 地球と自然と共に生きる

— ジオパークが描く持続可能な未来 —

講師

ヘンリー・レイチェル氏  
(Rachel Erin Henry)

むつ市ジオパーク国際交流推進員

アメリカ合衆国オクラホマ州出身。ニューヨーク大学卒業後、英国サセクス大学大学院科学政策研究ユニット(SPRU)に進学し、「持続可能な開発(生物多様性保全)」を専攻。研究では、ジオパークや国立公園政策と生物多様性保護の関係をテーマに取り組み、大学在学中にはオックスフォード大学への短期留学を経験。2012年より青森県風間浦村教育委員会に勤務、2017年から2024年までむつ市役所で国際交流推進員として地域活動と国際連携に尽力。2024年4月よりジオパーク国際交流推進員として、地域の自然資源と文化を世界に発信し、持続可能な地域づくりに携わっている。仕事以外では、下北ジオパーク認定ガイドとして地域案内にも取り組み、自然と人の共生を自らのライフワークとして実践している。

会場

弘前大学総合教育棟 301 講義室



第2回

12月16日(火)

16:00~17:30

参加申し込み  
〆切12月9日

### “ふつう”をとびこえる教室

— ジェンダーと多様性から考える生き方と学び —

講師

星野 俊樹 氏

ジェンダー教育実践家

兵庫県生まれ、東京育ち。京都大学大学院教育学研究科修了。出版社勤務を経て小学校教員に転身し、20年間にわたり教壇に立つ。現在はフリーランスの教育実践者として、これまでのジェンダー教育の経験をもとに、多様性や人権をテーマとした講演・執筆・研修活動を行っている。著書に『とびこえる教室—フェミニズムと出会った僕が子どもたちと考えた「ふつう」』ほか『これからの男の子たちへ』『差別のない社会をつくるインクルーシブ教育』など、教育現場と社会をつなぐ実践的な発信を続けてい。NHK E テレ「おとなりさんはなやんでる。さよなら“男らしさ”! ? イマドキ男子の育て方」にも出演し、ジェンダーと教育の新しいかたちを社会に問いかけている。



会場

弘前大学総合教育棟 301 講義室

一般の方も参加可能  
(会場・オンライン両方可)

## 弘前大学創立 80 周年記念先行事業

第3回

1月20日(火)

16:00~17:30

参加申し込み  
〆切1月14日

### 極地から未来を照らす

— 科学・探究・そして人として生きること —

講師

原田 尚美 氏

東京大学 大気海洋研究所 教授  
第66次南極地域観測隊隊長(女性初)

北海道帯広市生まれ。北海道苫小牧東高等学校を経て、1989年に弘前大学理学部地球科学科を卒業。名古屋大学大学院理学研究科博士後期課程修了、博士(理学)。在学中、第33次南極地域観測隊に参加し、女性として2人目の隊員となる。海洋研究開発機構などで地球環境変動の研究に携わり、現在は東京大学大気海洋研究所教授として、南大洋や東南極周辺海域の環境変化、生物地球化学循環、海洋生産や生態系の応答などをテーマに研究を続けている。また、第66次南極地域観測隊では女性として初めて隊長を務め、現在、日本地球惑星科学連合副会長、日本海洋学会副会長、日本地球化学会副会長を務める。

会場

弘前大学 50周年記念会館  
みちのくホール一般の方も参加可能  
(会場・オンライン両方可)

第4回

1月27日(火)

16:00~17:30

参加申し込み  
〆切1月20日

### “バカな”と“なるほど”的キャリア戦略 — 模倣不可能性に着目して強みをつくる —

講師

鎌田 翔至 氏

株式会社サッポロドラッグストア  
マーケティング部

北海道網走市生まれ。2022年弘前大学人文社会学部社会経営課程地域行動コースを卒業。2022年人文社会学部同窓会長賞受賞(継続した地域活動)。2022年3月から1年間、弘前市坂元の「久渡寺のラーメン屋さん」を事業承継・運営しつつ、周辺地域の地域づくりに参画する。2023年4月株式会社サッポロドラッグストア入社、函館市にて販売員として店舗運営業務に携わる。2024年、第19回セルフメディケーションアワードフレッシュ特別賞受賞。2025年9月よりマーケティング部にてECサイトの立ち上げに従事する。



会場

弘前大学総合教育棟 301 講義室

【対象】弘前大学学生および教職員・高大連携協定校の高校生・一般の方

※一般の方は、第2回と第3回のみ聴講可能です。ただし定員を超えた場合は弘前大学生を優先させていただきます。

【申し込み】参加希望者は、「各回の右上」にある「QRコード」からお申し込みください。

教養教育科目「持続可能な開発目標 SDGs—持続可能な開発目標 SDGs17 Goals②—」履修者は授業の一環で履修することになるため申込みは不要です。

【参加方式】対面とオンライン参加のハイブリット形式で行います。

【その他】駐車場のご用意はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

【お問い合わせ先】

教 育 推 進 機 構	・ 准 教 授 宋 美 蘭	smiran@hirosaki-u.ac.jp	(0172-39-3929)
教養教育開発実践センター副センター長	・ 准 教 授 清水 稔	m-shimizu@hirosaki-u.ac.jp	(0172-39-3376)
教 育 推 進 機 構	・ 助 教 増 本 広 和	masumoto@hirosaki-u.ac.jp	(0172-39-3648)